
楽園へと続く道

ロースト

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

楽園へと続く道

【Nコード】

N2802M

【作者名】

ロースト

【あらすじ】

最初造り始める前の雰囲気とは正反対に変わってしまった作品。
アレ、ナンデダロ。
思わず片言になってしまいそうぐらいに焦る。

楽園へと続く道

暗く深い闇、

濁った感情は池のように溜まり、塵のように沈殿している。

そこにあるただ一つ綺麗なものは目覚めることもなく、秘され気づかない。

偽りの美しさか禍々しさが輝くのか。

それさえも曖昧で、まやかしか。

青空を、光を見ることもなく腐敗してゆくばかり。

積み木でつくった塔のように、見目ばかり重視して他を見失う。

頑丈だけど、空洞ばかり。

脆くてがらみどこのこの世界はまだまだ未熟で、未開発で、未知に溢れている。

この翼を絡めとる鎖を引き裂いて飛び立つにはどうすればいいのだろう。

たった一つの願い、澄み切った空へと祈った。

この想いを乗せて飛ばした紙飛行機
愛しい、愛しいあの人のもとへ届け

空を見上げひたすらに
運命のサイコロは投げられている。

まだ未来は決まっていない。
もう未来は動き出している。

高く上げられたそれは光を受けて輝く。
いつ来るのか、どこにあるのか。
わからない明日。

何もかもが不安定で、それでも想い信じて生きてゆく。
いつか、楽園へと行くために。

君と僕、いつかはまだ遠い未来だけでも
この戦いと死屍累々、運命と罪の血、流れる川乗り越えてく。

二人手を繋いで一緒に歩こう、明るい未来を信じてるから。

花は死者への手向けと流され、後悔の十字は歌にされ、
水の流れに咲いたそれは天使にさらわれる。

不変なき煌きは母の暖かさで触れてくる。
慈悲の温もりは心を癒す。

いつまでも果て無きこの愛
いつか君に届くように、楽園を君に捧げよう。
至高とともに、君が望むなら。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2802m/>

楽園へと続く道

2010年10月17日20時10分発行